



南翔

令和3年11月19日
文：校長 丹沢伸也

前号では、本校で行われた様々な授業や活動の様子を紹介しました。11月には、委員会活動やクリーンアップ活動などの生徒会活動が行われ、また、今年度より実施した地域を巡る校外学習や、2年ぶりの柔道の授業も行われました。今回はそんな様子をお伝えします。

図書集会く読書に親しむ機会に



11月5日(金)、図書委員会主催による図書集会が行われました。まず、夏休みの課題の読書感想文コンクールに入賞した1年生の鈴木莉王さんと、2年生の前嶋麻友さんが、それぞれ感想文を発表してくれました。

○鈴木莉王さん

図書『咲む(えむ)』

莉王さんは、一人のろう者(耳が聞こえない)の女性の物語で映画化もされた『咲む』という本の感想文を発表してくれました。主人公でろう者の瑞月さんは、耳が聞こえないという障害があるにも関わらず、看護師の資格を

取得しました。しかし、就職は決まらず、仕事に就けても、耳が聞こえないためコミュニケーションがとれず受け入れてもらえなかったそうです。それでも試行錯誤してあきらめずに仕事に取り組みました。そんな物語に、莉王さん自身が、ろう者と交流をした経験に触れ考えを発表しました。莉王さんが知り合った、ろう者の方の「聞こえないことは不便ではあるが、不幸ではない」という言葉を思い返したことが、「障害があっても、自分たちと変わらないこと」、「相手をきちんと理解することが大切である」といった内容を発表しました。



○前嶋麻友さん

図書『牧野富太郎』

日本植物学の父

続いて麻友さんは、多数の植物の新種を発見して命名も行い「日本の植物学の父」と呼ばれる、牧野富太郎さんについての課題図書を読んだ感想文を

1年生町内巡り実施

11月10日(水)、1年生が市川三郷町を歩いて見学をする「校外学習」を実施しました。目的は、町内の史跡や文化財、産業等について学習し、現地で見学することを通し、地域を知り愛する心を育てることとして、今年度より実施することとなりました。当日は、六郷地区の高前寺、三珠地区の歌舞伎資料館を全員で見学した後、市川地区に移り、大門碑林公園から花火資料館まで班ごとでウォークラリーを行いました。



表しました。牧野さんは、学校へは行かず独学で学び、周囲の人の応援も得て自分の好きな植物の研究に生涯を費やしたそうです。麻友さんは、自身が持つ夢の実現と重ねて、「あきらめない勇氣」、「お互いを応援し合いながら、それぞれの夢を実現させたい」ことを発表してくれました。



生徒は、見学先で熱心にメモを取ったり、説明してくれる方々に質問したりするなど、とても前向きに取り組んでいました。現在、町内全ての小中学校で、地域を学び、地域を愛する心を育てる「みさと学」に取り組んでいます。今回は、その良い学習の一つになりました。また、地域協働本部のコーディネーターの方にも協力をしていた

だき、見学地と一緒に回って歩き、また、ウォークラリーのチェックポイントにも協力いただきました。このような連携もでき、今後につなげる大変有意義な機会となりました。



環境大臣表彰クリーンアップ作戦実施



毎年生徒会で行っている地域清掃「クリーンアップ作戦」を11月1日に実施しました。放課後4つのグループに分かれ、学区内を歩きながらゴミ拾いを行いました。



学校を出発してからおよそ80分ほど、それぞれの分担当場所で行いました。終了後の生徒の感想は、「一番多かったゴミはタバコの吸い殻だったそうで、大変意外でした。これを機会に、生徒が「拾う側の気持ち」を知り「捨てる側の人」にならないこと、また、何気なくゴミを捨てる人たちも考え直す機会となればうれしいです。この活動は、先に紹介した「地域環境美化功績者」として二〇二一年度の環境大臣表彰が贈られた活動で、今年度も継続して行うことができま

した。



2年ぶりの柔道授業

11月8日(月)より体育で柔道の授業が六郷の武道場で5回に分けて行われました。昨年度はコロナ禍で実施できなかったため、2年ぶりに行うということで、2年生に、昨年度できなかった3年生が加わって合同で授業を行いました。指導者を市川在住の土橋 信さんをお願いしました。生徒にとっては初めての柔道体験ということで、道着の姿も新鮮でした。



県卓球新人大会

県卓球新人大大会が個人戦と団体戦とにわかれ3日と13日に行われました。残念ながら、上位に進むことはできませんでしたが、今の自分たちの力と県の力のレベルを知る良い機会となりました。

